

Q&A

若年女性に発症した膵尾部腫瘍性病変

【問 題】

症例：29歳女性。

主訴：心窩部痛，嘔吐，下痢。

現病歴：2022年X月3日，夜間にワインを2本飲酒した。X月4日に生牡蠣を食してから腹痛を認めていたが，様子を見ていた。しかし，改善が得られずX月5日に腹痛，下痢，嘔吐を主訴に近医を受診した（感染性胃腸炎の診断）。受診時に施行した腹部超音波検査にて膵腫瘍を指摘された。X月6日に造影CTを施行したところ膵尾部に腫瘍性病変を認め，精査加療目的に当院に紹介受診となった。

既往歴：蕁麻疹，月経困難症。

アレルギー：特記事項なし。

家族歴：父方の祖父が糖尿病。

飲酒歴：週に1，2回純エタノール量100g。

血液検査所見：WBC 9200/ μ L，RBC 4.61×10^4 / μ L，Hb 15.0g/dL，Hct 43.8%，MCV 95.0fL，MCHC 34.2g/dL，Plt 25万/ μ L，Neut 77.9%，Lympho 16.2%，Mono 5.8%，Baso 0.1%，PT 118%，PT (INR) 0.91，Alb 4.0g/dL，AST 21U/L，ALT 43U/L，ALP 66U/L，LDH 61U/L，GTP 53mEq/L，T-Bil 0.4mg/dL，Amy 205U/L，Lip 178U/L，トリプシン 1770ng/mL，PL-A2 1080ng/dL，Na 140mmol/L，K 3.8mmol/L，Cl 105mmol/L，BUN 13mg/L，Cre 0.47mg/dL，CRP 0.18mg/dL，グルコース 80mg/dL，HbA1c 5.2%，CEA 0.3ng/mL以下，CA19-9 6U/mL，Span-1 5.6U/mL，DUPAN-2 25U/mL以下，エラスターゼ 1984ng/dL，IgG 1092mg/dL，IgG4 8.8mg/dL。

各種画像（Figure 1～4）を示す。

鑑別は何か？

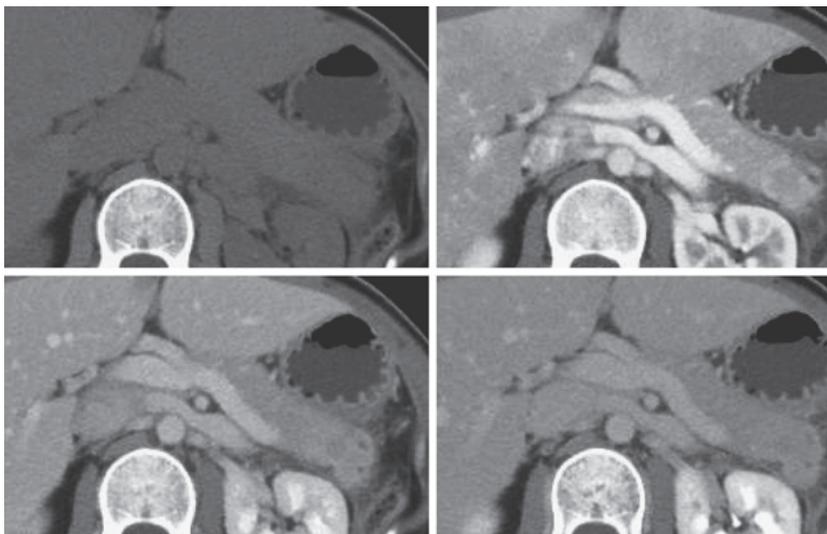


Figure 1. 腹部造影CT画像（左上：単純，右上：早期相，左下：平衡相，右下：遅延相）。

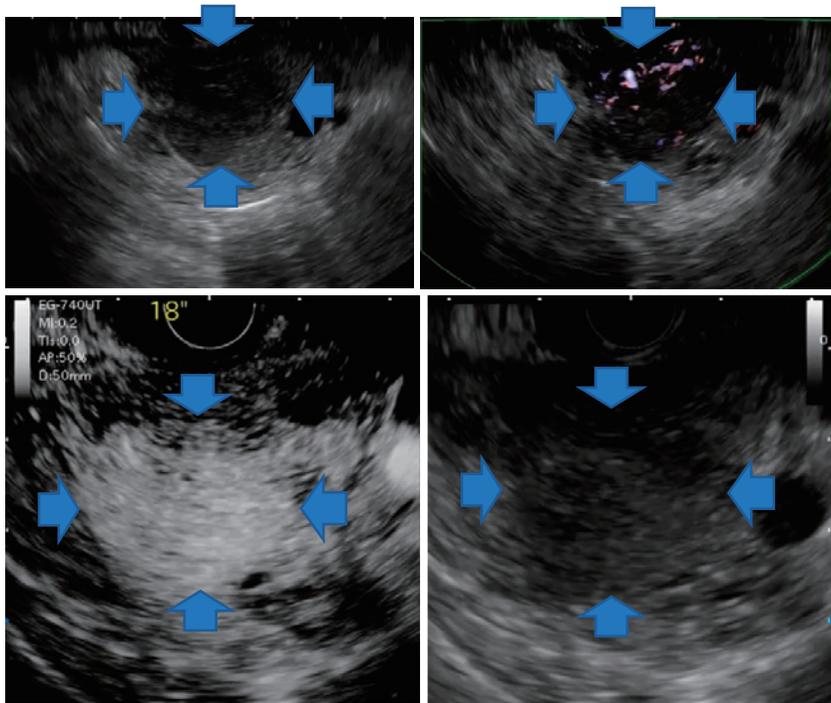


Figure 2. 超音波内視鏡 (左上：通常, 右上：カラードップラー, 下：ソナゾイド®造影).

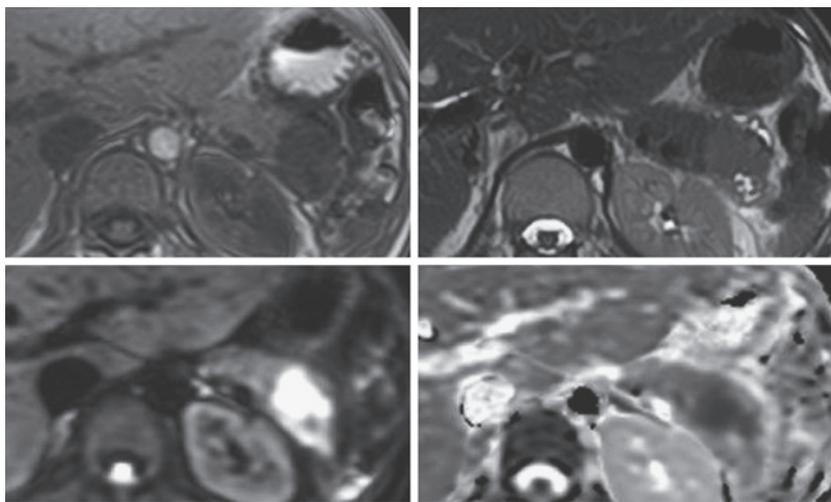


Figure 3. MRI (左上：T1, 右上：T2, 左下：DWI, 右下：ADC).

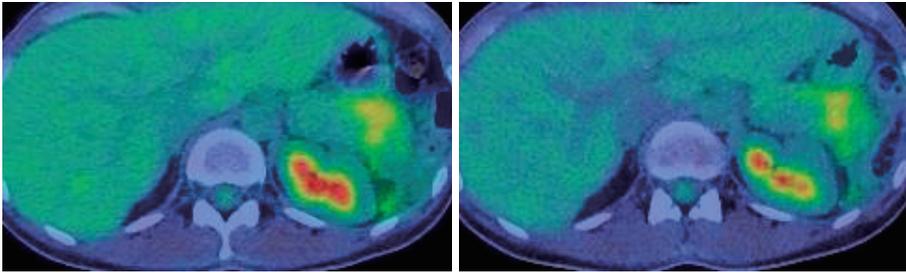


Figure 4. PET (左：早期 SUVmax = 3.28, 右：後期 SUVmax = 3.09).